

# インテリジェンス研究所 第5回諜報研究会

主 催： NPO 法人インテリジェンス研究所  
共 催： 早稲田大学 20 世紀メディア研究所

日 時： 2013 年 12 月 21 日(土)  
14 時 30 分開会(13 時 50 分受付開始)

会 場： 早稲田大学 1 号館 2 階  
現代政治経済研究所会議室

資料代： 500 円 (受付にてお支払いください)

(NPO 正会員、ならびに『Intelligence』年間購読会員の方は無料です)

## 【セッション 1】

平松 純一 (インテリジェンス研究所研究員)

「インテリジェンス研究における記号学(論)的アプローチの可能性と課題  
—米国情報局(USIA)の組織アイデンティティの分析を通じて—」

## 【セッション 2】

木村 洋 (数学史家)

「最近の諜報史研究に関する問題点の指摘

—ルーズベルト親電・ヤルタ密約—」

コメンテーター：

加藤 哲郎 (早稲田大学大学院客員教授、一橋大学名誉教授)

---

【タイムテーブル】 ※事前のアナウンスから時間配分を若干変更しました

1350		受付開始
1430		開会
1430 - 1440	(10 分間)	【事務局より】 各種アナウンス
1440 - 1515	(35 分間)	【セッション 1】 平松純一氏「インテリジェンス研究における記号学(論)的アプローチの可能性と課題—米国情報局(USIA)の組織アイデンティティの分析を通じて—」
1515 - 1525	(10 分間)	会場との質疑応答
1525 - 1540	(15 分間)	休憩
1540 - 1635	(55 分間)	【セッション 2】 木村洋氏「最近の諜報史研究に関する問題点の指摘—ルーズベルト親電・ヤルタ密約」
1635 - 1705	(30 分間)	コメントおよび討議
1705 - 1720	(15 分間)	会場との質疑応答
1725 頃		閉会
1745 頃		懇親会 開会 (会場はそのまま 2 階会議室です)

---

報告者のご紹介(報告順、記載内容はご本人によるものです):

### 平松 純一 (ひらまつ じゅんいち) 氏

略 歴:

専門は経営学、特に安全保障分野の組織論・マネジメント。

2013 年 5 月よりインテリジェンス研究所・研究員。

日本安全保障・危機管理学会で研究員、ギリシャ欧米研究所で研究助手も務めている。

2008 年、英国ブルネル大学大学院・社会科学研究科修了(インテリジェンス・安全保障修士)。

2013 年、拓殖大学大学院・国際協力学研究科・博士後期課程(安全保障専攻)単位取得満期退学。

博士論文のテーマは、「米国のプロパガンダ組織論に関する研究—米国情報局(United States Information Agency, USIA)をめぐるディスコース分析を通じて—」。

### 木村 洋 (きむら ひろし) 氏

略 歴:

数学家。

---

#### 【お申込み・お問い合わせ先】

NPO 法人インテリジェンス研究所 早稲田事務局

169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 現代政治経済研究所気付

web サイト: <http://www.npointelligence.com/>

電子メール: [npointelligence@gmail.com](mailto:npointelligence@gmail.com)

---

当研究所ならびに「20 世紀メディア情報データベース」の会員登録(個人)についてご関心のある方は、ぜひ当研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.npointelligence.com/>

「20 世紀メディア情報データベース」は以下よりログイン可能です。

<http://20thdb.jp/>